

実験動物用測定試薬選択ガイド④

メーカーコード	キット名	検体量 (μ l)	お薦め検体	特に注意すべき事項
AKRIE-010	レビス IgE-ELISA キット(マウス)	①	血清、血漿②	検体希釈目安は10倍以上です。
AKRIE-011	レビス IgE-ELISA キット(ラット)	①	血清、血漿②	検体希釈目安は10倍以上です。
AKRKG-010	レビス KLH(TDAR)ラット-IgG ELISA KIT	①	血清、血漿②	検体は必ず500倍以上に希釈してください。
AKRKM-010	レビス KLH(TDAR)ラット-IgM ELISA KIT	①	血清、血漿②	検体は必ず200倍以上に希釈してください。
AKRIE-030	レビス OVA-IgE マウス	①	血清、血漿②	検体は必ず10倍以上に希釈してください。
AKRIE-040	レビス OVA-IgG1 マウス	①	血清、血漿②	検体は必ず100倍以上に希釈してください。
AKRRG-101	レビス リウマチ因子IgG型-マウス	①	血清、血漿②	検体希釈目安は51倍、101倍、201倍。 加熱非動化した検体は不可
AKRRG-111	レビス リウマチ因子IgM型-マウス	①	血清、血漿②	検体希釈目安は21倍、51倍、101倍。 加熱非動化した検体は不可。
AKRDD-061	レビス 抗dsDNA-マウス ELISA KIT	①	血清、血漿③	検体希釈目安は51倍、101倍、201倍。 加熱非動化した検体は不可。
AKRSD-051	レビス 抗ssDNA-マウス ELISA KIT	①	血清、血漿③	検体希釈目安は51倍、101倍、201倍。 加熱非動化した検体は不可。
AKCJ1-010	TAC Cry j 1 ELISA KIT	100 μ l	④	
AKCJ2-010	TAC Cry j 2 ELISA KIT	100 μ l	④	
AKDF2-020	TAC Der f II ELISA KIT	100 μ l	④	

①取扱説明書にある希釈倍率を参考に適当倍率に緩衝液で希釈し測定用希釈検体としてください。

②抗凝固剤にはヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸のいずれかをご使用ください。

③抗凝固剤にはヘパリンの使用は出来ません。

④キット付属の抽出用緩衝液で抽出した検体を使用してください。

※検体のpHは6.5～7.5の範囲内で調整してください。

※抗凝固剤の最終濃度:ヘパリン(1.2～12U/ml)、EDTA-2Na(1.0～1.5mg/ml)、クエン酸Na(0.8～1.0%)

「シバヤギ製ELISA KITで良い結果を出すための動画」もご購入前にご覧ください。

各製品の詳細は弊社営業グループへお問い合わせください。

e-mail: syc-info@shibayagi.co.jp

<URL><http://www.shibayagi.co.jp> TEL. 0279-25-0279 FAX. 0279-23-0313

株式会社シバヤギ 〒377-0007 群馬県渋川市石原1062番地1